

令和2年度 北海道体育学会 第5回役員会

■日時：令和2年3月27日（土）16:00～17:30

■会場：Zoomによるオンライン会議

・会長挨拶

議事に先立ち、神林会長より挨拶があった。

・議事署名人（永谷稔、小林秀紹）

・出席者：神林勲、山本理人、石澤伸弘、関朋昭、森田憲輝、井出幸二郎、永谷稔、小田史郎、瀧澤一騎、高瀬淳也、小林秀紹、山口太一、越川茂樹、多賀健、井上恒志郎、田中昭憲、塚本未来、中島寿宏、木本理可

オブザーバー：山田秀樹、小倉晃布、佐藤未来、梅田千尋、秋月茜

■協議事項

1. 令和2年度会計収支決算（案）について

塚本会計担当より、一般会計と特別会計の収支決算報告（3/25時点）について、資料をもとに説明があり、提案通りに承認された。また、今後の支出分を計上した上で、2021年度臨時総会で提案することが確認された。

2. 臨時総会・話題提供発表について

石澤理事長より、来年度の臨時総会・話題提供発表の実施方法について、来年度予定されている記念大会を念頭に置き、一部でも対面で実施したいとの提案があり、役員への意見確認があった。その際、将来構想WG長の瀧澤委員より、会員である若手研究者・大学院生や現場教員への情報提供も兼ねて、論文投稿・研究費申請等に関する研修会・ワークショップの開催についての議論があった旨の報告があった。また、対面とオンラインのハイブリッド方式についても実施経験があるとの情報提供があり、新旧研究委員会を中心に来年度話題提供発表の方向性について検討することとなった。会員への案内は、日程、会場等が決まりしだい、4月上旬を目途にメーリングリストおよび学会HPを用いて行うことが確認された。

3. 第60回記念学会大会の開催について

関大会委員長より、第60回記念大会の大会概要（案）について、資料をもとに説明があった。2021年12月4日（土）、5日（日）にライフオートホテルにおいて対面での実施を予定しているとのことで、多賀委員より、他会場との比較資料をもとに、価格・広さ・アクセス等を踏まえた決定の経緯および見積について報告された。大会概要については、若手研究者賞の対象年齢についての修正、感染対策等に関する情報の記載について確認された後、承認された。

4. 各種委員会（研究、編集、大会、広報）より

なし

5. その他

なし

■報告事項

1. 2018～2020 年度役員会・事務局の成果と今後の課題について

理事長および各委員長より、任期中の成果と今後の課題について、資料をもとに説明があった。神林会長より、これまでの活動に対するお礼とともに、出された課題については整理したうえで新年度第1回役員会において提案するとの報告があった。なお、将来構想WGについては、今年度をもって一区切りとし、コロナの状況等が落ち着いた際に、必要に応じて設置する旨が伝えられた。

2. 各種委員会・事務局（研究、編集、大会、広報、事務局）より

1) 研究委員会

越川研究委員長より、北海道体育学会 70 周年兼第 60 回大会記念「研究助成」について、採択者には 3 月末までに全ての書類の提出を求めており、新年度第 1 回役員会において報告する旨の報告があった。

2) 編集委員会

永谷研究委員長より、北海道体育学研究第 56 巻について、継続審査となっている論文が 3 編、新規投稿が現在 2 編であるとの報告があった。

3) 大会委員会

関委員長より、オンラインで実施された特別大会について、発表者数が 2 桁であり、若手研究者賞の選考も無事行えたこと、遠方の会員にもご参加いただけたことなど、今後の活動の幅を広げる意味でも意義深いものになったとの総括があった。

4) 広報委員会

高瀬広報委員長より、ニュースレター第 12 号が発行されたとの報告があった。

5) 事務局

中島幹事より、日本体育学会への事業報告および会計報告について、これまで提出期限が 3 月末だったものが 7 月末に変更されたことが報告された。また、塚本会計より、役員会等に関わる旅費の見直しについての確認があった。木本幹事より、現時点での会費納入状況についての報告があり、近日中にメーリングリストを用いて納入依頼等を送信する旨の確認があった。

3. その他

なし

■その他

- ・山本副会長より、2022 年度日本体育科教育学会の第 27 回学会大会が北海道教育大学札幌校を中心に開催される予定であるとの報告があった。5 月開催予定であるため、北海道体育学会と共同で企画する方向性も検討してほしい旨の依頼があった。

以上